



与野本町小だより

～かしこい子 心ゆたかな子 たくましい子 助け合う子～
ニコニコ・しっかり・美しく（本町の心）

1 月 号

令和 8 年 1 月 8 日

さいたま市立与野本町小学校

かしこい子

～知恵を磨くことのすすめ～

校長 小 野 圭 司

昨年 1 2 月 2 4 日（水）の第 2 学期終業式では、前年（令和 6 年）と同様に、本校の「今年（令和 7 年）の漢字」について話をしました。私が選んだ漢字は「気」です。（令和 6 年は「美」でした。）その理由として、4 月から徐々に体育館での雰囲気「気」がよくなってきたことを挙げました。皆が周囲の様子に「気」づき、「今は静かにした方がいいな」など考えて行動できるようになってきたと感じています。

また、運動会やニコニココンサートでは、皆の本「気」を感じました。「少しでも上手になりたい」「お家の人に見てもらいたい、聞いてもらいたい」という思いから、本気で演技や演奏に取り組む姿をたくさん見せてくれました。さらに、1 1 月にはインフルエンザ等で学級閉鎖となったクラスもありましたが、今は収まり、皆が元「気」であることを改めて感じました。加えて、これからは苦手なことにも挑戦する勇「気」をもってほしいと願っています。

さて、本校の学校教育目標については、1 0 月に「たくましい子」、1 1 月に「心ゆたかな子」、1 2 月に「助け合う子」を取り上げました。そして最後は「かしこい子」です。私の考える「かしこい子」とは、単に「知識」をもっているだけでなく、実生活で応用できる「知恵」を備えた子ではないかと思います。終業式では「ぜひ、自分の『今年の漢字』を考えてほしい」とも呼びかけました。漢字一文字に 1 年間を集約するためには、その意味を理解している必要があります。これは「知識」です。そして、自分の頑張りや成長を振り返り、自身の生活と漢字を結び付けて考えることは「知恵」を磨く一つになるのではないかと考えます。

また、時節柄、お年玉の使い道を考えることも「知恵」を磨くことにつながるのではないのでしょうか。例えば次のような力です。

- ◆計画性（限られた金額の中で、いつ・何に使うかを考える）
- ◆意思決定力（欲しい物が複数ある場合に、どれを諦め、どれを選ぶか判断する）
- ◆金銭感覚（お金が有限であることを実感し、値段や価値を意識する）
- ◆情報収集力（購入前に比較し、本当に欲しい物か、より良い物はないかを調べる）

最後になりましたが、子どもたちとの楽しいかわりはもちろん、保護者の皆様や地域の皆様の温かなご支援のおかげで、昨年も無事に過ごすことができました。心より感謝を申し上げます。

そして、あけましておめでとうございます。私自身も「知識」だけをもつ頭でっかちにならず、子どもたちの姿をしっかりと見て判断する「知恵」をもてるよう努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。